

同窓会総会・役員改選

福島昭子氏勇退 新会長中村一郎氏



第 8 号
2012.11.1

発行
長野県松本美須々ヶ丘高等学校同窓会
〒390-8602
長野県松本市美須々 2-1
長野県松本美須々ヶ丘高等学校内
TEL・FAX (0263) 33-2560 (事務局直通)
ホームページ
<http://www.mcccl.or.jp/www/misuzu100/>
メールアドレス
misuzugaoka@po.mcccl.or.jp

印刷
SALAT (株) サラト
SALAT Corporation

私たちの同窓生

会員数 33,317人

在校生 919人

(男 437、女 482)

平成 24 年 4 月現在

前身学校

長野県市立松本女子職業学校
長野県松本高等家政女学校
長野県松本市立高等女学校
長野県松本市立中学校
長野県松本市立女子商業学校
長野県松本市立高等学校

同窓会長退任のご挨拶



前同窓会長 福島昭子 (S26卒)

この度、松本美須々ヶ丘高等学校同窓会長を辞することになりました。

平成 16 年に就任してから早 8 年が経過し、去る 6 月 16 日の平成 24 年度定期総会をもちまして中村一郎新会長にバトンタッチ致しました。微力ながらこの間無事務めさせて頂けましたのも、ひとえに役員・同窓生の皆様、そして学校の歴代の校長先生を始め諸先生方の暖かいご指導ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

任期中様々なことがありましたが、特に平成 21 年度に行われました創立百周年記念事業に関わる諸行事を皆様と共に心一つに成功させた感動が心に鮮明に残っています。

大事業を目の前にして、果たして会長職が務まるか不安のままお受けした大任でしたが、統合や校名の変更などにより複雑な思いのある歴史と伝統を、百周年記念事業を通して一体化させ、次なる百年の新たな歴史の一步につなぐ役割を果たそうと心に決めお受けしました。しかし様々な場で、最年長である私は異邦人なのかしら？と若い後輩の皆さんの中で淋しさを感じることがままありましたが、創立百周年の創始である松本女子職業学校の伝統を、多くの諸先輩に代わり立派に次世代に繋ぐ責任があることを己に言い聞かせつつ努力したことなどを今懐かしく思い返しています。

同窓会が 1 丸となり、多くの方々のご協力を

頂き、創立百周年記念事業のシンボルとして、同窓会の理念「共に生きる」を銘板に掲げ、美須々教育会館が建設されました。この会館は、記念事業のテーマ「百年の足跡を無限の未来へ・大宙へ双蝶……」の活動拠点であり「松本女子職業学校・松本家政女学校・松本市立高等学校・松本市立中学校・松本市立女子商業学校」のそれぞれの歴史と伝統を優しく雄々しく抱いています。共に生きる同窓会の理念に相応しく時代に先駆け「男女共学」の先進の校風をもつ母校の歴史を包み建設されましたことに改めて感謝と喜びを覚え、この会館が母校と同窓会の絆となり、新しい時代を創る在校生の素直な成長に寄与出来すことを心より念じています。

同窓会年会費二千円の協力も頂けるようになり、年一回の会報も会員の皆様にお届け出来るようになりました。超少子高齢人口減少型社会の到来は、私たち一人一人の命の質と生き方が大きく問われ、自ずと同窓会をとりまく状況も変わっていくことが予想されます。

今後は中村一郎新会長を中心に役員、同窓生の皆さんが力を合わせ、引き続き学校と連携をとりながら時代に即応したより良い同窓会活動が続けてほしいものと願っております。

結びに同窓会と母校の発展を心より念じ、長い間支えて頂いた皆様に心より感謝申し上げます。任の挨拶と致します。



新会長ごあいさつ

同窓会長 中村 一郎 (S37卒)

同窓会の皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は同窓会発展のために格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。私は平成二十四年度長野県松本

美須々ヶ丘高等学校同窓会定期総会におきまして、福島昭子前会長よりバトンを拝受し、同窓会長に就任しました昭和三十七年卒業の中村一郎と申します。この場をお借りしまして、同窓会長の交代を謹んでご報告申し上げます。皆様

方も先刻ご承知のとおり、福島前会長に於かれましては四期八年の就任期間中、当同窓会の長年の懸案となっておりまして、教育会館の建設という歴史的な大事業を成し遂げられたばかりでなく、創立百周年記念事業をも見事な成功に導かれた功績はあまりにも大きく、その強靱なリーダーシップを十二分に発揮されましたことに深く敬意を表するものでございます。このような歴史が刻まれた後に、また、他にも立派な諸先輩方

が多くいらつしやる中で、私ごとき若輩者が同窓会長という大役をお引き受けし、重要な任務を果たすことができるのか随分悩みました。未だに不安感が一杯で責任の重さがずっしりと双肩にかかっております。しかし、大任をお引き受けしました上は、創立百余年の歴史ある伝統校、松本美須々ヶ丘高校の名に恥じるのではないよう、微力ではございますが、同窓会および母校の発展のために、誠心誠意尽くしてまいります所存でございます。

ですので、ご指導、ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。また、未熟者の私と共に手を携えてくださいます安藤校長先生他諸先生方および同窓会副会長を始めとする全役員の方々ならびに同窓会会員の皆様方の多大なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



印象に残る同窓会総会

校長 安藤 善 二

日頃同窓会の皆様には本校教育活動にご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

本年は、生徒919名教職員68名でスタートいたしました。学習力の向上、基本的生活習慣の確立、清掃美化などを課題としながら、生徒会や部活動との両立を目指し生徒たちは頑張っております。特に、双蝶祭、クラスマッチ、みずずつ子ミーティングやチャリンコウィークなどの活動において、自主・自律・自立・協力という美須々ヶ丘の特色を大いに発揮しています。また、部活動

においては全校で90%近くの生徒が加入し日々励んでおります。特に弓道部男子団体は6月の県高校総体で優勝を飾り、8月のインターハイに出場しました。本年は北信越かがやき総体で松本市開催、会場は学校直近の松本市総合体育館。予選を突破し決勝トーナメントに進出しましたが、一本差で惜敗しました。しかし、全国大会で校友、保護者、同窓諸氏の応援のもと練習の成果を発揮できたことは弓道部にとっても松本美須々ヶ丘高校にとってすばらしい体験でした。また吹奏

楽部は、東日本大震災被災地への楽器を寄贈する活動が認められ、3月には震災復興を願うコンサートに招待され浜離宮で演奏を行いました。そして8月には吹奏楽コンクールにおきまして県大会金賞東海大会出場を果たしました。放送部や合唱部も全国総文祭に出場するなど、日頃の努力がこのような形で実を結ぶことは本当に喜ばしいことです。同窓会の皆様には、これらの活躍に対して激励板や応援幕を寄贈して頂き、生徒達を大いに勇気づけてくださいました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて本年度同窓会総会は印象深いものとなりました。ひとつは、映画「アンダンテ 稲の旋律」の上映です。仕事や対人関係から自己肯定

会長の中村一郎さん新会長ご就任です。100周年記念への熱い想いとリーダーシップにより、大勢の皆様が思い出に残る事業を成し遂げられた福島前会長さんの業績は今更言うに及ばないものであります。退任の挨拶時に会員の瀬川さんから可愛い花束を贈られ涙したお姿が印象的でした。本当にご苦労さまでした。新会長となられました中村さんは、穏やかな誠実さあふれるお人柄のなかにも背筋がきりつとされ、人情味と時におっしゃられるユーモアで皆を和ませ、まさに「温仁をもって統べる」方でございます。中村新会長さんを中心とする新役員体制で出発する同窓会のますますのご隆盛と会員皆様のご健勝をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

活躍する卒業生

～今回は高校の教頭として活躍中のお二人を紹介します～



美須々ヶ丘にわれ学ぶ

北野 亨 (S52卒)

今年度より、新任教頭として木曽青峰高校定時制に勤務しています。美須々同窓生としてすっかりやって行こうと思っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

美須々を卒業して、35年過ぎましたが、思い出として残っている事があります。入学時の記念写真は、なぜか隣の県営陸上競技場(現在は県民文化会館)のスタンドで撮ったもので、懐かしく思えましたし、入学後の応援練習では3年生

に叱られ、「勝てり我ら」や「新校舎を何度もやり直しさせられました。また、クラス遠足は、1年目に美鈴湖でカレーを作り、2年目は電車で木崎湖、3年目は開設されたアルプス公園に行きました。双蝶祭の後夜祭で泥かけを始めたのは、私が3年の時だったように記憶しています。

私の美須々での高校生活は、バスケットボールと授業に取り組み充実した3年間でした。バスケット部の練習は体育

館が一つ(現在の小体育館)しかなかったため、自分たちで常に工夫して練習方法を考えました。自転車チューブに砂をつめて足首に巻き、美鈴湖まで走って登ったり、外のバレーコート(現在の本館東側テニスコート)でインテール

ダッシュを50往復繰り返したりして、3年次のインターハイ県大会では、全国大会常連の東海大第三高校を破り、ベスト8になった事が思い出されます。朝練習も自分たちで自主的に始め、放課後も遅くまで残って練習していました。同学年の仲間には、卒業文集に感謝の言葉を表した事を覚えています。

先生方は個性的な先生が多くて専門性も高く、知的好奇心を持たせてくれる

いたチーム力には胸を張るものがあり、今でも会えば当時の話題で旨い酒を酌み交わしています。

バスケット一筋の高校生活で進路に悩むとき、書を学ぶ道を示していただいたのは古幡先生でした。大学では多様な書の世界を知り、現代書壇には属さず、独特な方法で書美の探求をするグループで活動が続けました。「歴史に残る書に共通しているものは何か」「生きた線とは」「筆墨が現代の文房具でなくなる中、書の表現の意味はなどの命題に、呼吸を意識して新聞紙に一本の線を全力で引く稽古など、身心学道としての書道を様々な方法で工夫をしたものです。

教育実習の時、この実践が高校生の授業に活かせるのかと、床の上で全紙に草書二字の臨書に挑戦する指導案で臨みました。最後の生徒の感想に思いもよらぬ感激する言葉があり、本気で教師になるうと決意したのでした。その教育

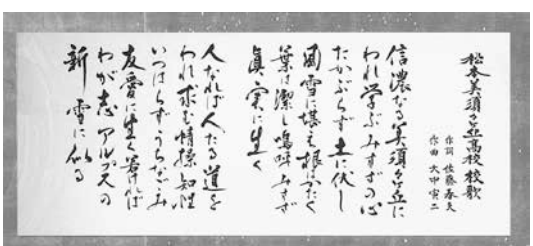


みずぶの心から

工藤 哲夫 (S52卒)

昭和55年5月、母校で2週間「書道」の教育実習を行うことができました。指導教官は3年間授業でお世話になった古幡迪夫先生です。打合せに行くと、教師は教壇で勝負。2週間全ての授業を自分で計画し実践せよ。内容・教材も全て任せる「このこと。ミズブの自由はこういう形もあつたかと戸惑いながら、伺った日の授業を一時間だけ参観させていただき、大学に戻り計画を立て始めました。

美須々入学後暫く心地よい生温さに浸っていたところ、中学時代全国大会を経験している男バス部員たちから、51松本インターハイ出場を本気で考えないかと誘われて、部活中心の高校生活となりました。専門の顧問が徹底的に鍛え上



平成15年度卒業記念品として、白澤学年より新体育館に校歌額の揮毫の依頼を受け書したものです。

実習日誌に「授業は教師がひとり悦に入るものではなく、生徒と共に作り上げるものです」とコメントを記していただいた古幡先生の言葉は以後学校現場のあらゆる場面での座右の銘となりました。

楽しい授業をしてくれたので、毎時間充実していました。クラスはユニークで個性的な友人が多く、卒業後も担任の古幡迪夫先生を招いて同級会をほぼ毎年開催しています。

昭和57年に教員になり、平成3年から11年まで母校美須々に勤務させていただきました。その間同窓会事務局を担当し、90周年式典にもかかわらずいたできました。恩師や仲間との出会いが、私の支えとなり成長させてくれました。美須々で学べた事に感謝し誇りを持って、今後も進んで行きたいと思っています。

これからの母校の発展と同窓生皆様のご健勝を祈念申し上げます。

特集 全国大会出場

運動部



弓道部 男子団体

男子団体予選・20射13中で予選通過決勝 トーナメントに進んだ。

1番目の宮原駿(3年)と5番目主将の望月力(3年)が
ともに4射4中の皆中で決勝へ。

決勝・宮崎工業と対戦12対13の僅差で敗退

弓道部より

今年度、念願だったIHに初出場しました。予選は無事通過することができましたが、決勝トーナメント1回戦で惜しくも1本差で敗れてしまいました。今回の経験を糧に、今後もIHに出場できるよう頑張っていきます。

・大舞台で自分の役割が果たせて良かったです。1本の重みを痛感しました。

(宮原)

・IHに導いてくれた先輩や応援してくれた全ての人に感謝しています。

(三澤)

・今までの努力が報われました。3年間続けてきて本当に良かった。(佐藤)

・不甲斐ない結果を出してしまったが、後輩達に何か残せたような気がします。

(岩間)

・自分の力をすべて出し切れました。目標が結果になった大会でした。(望月)

・今回の大会で学んだことを自分の糧にして次に生かしていきます。(堀内)

なお、大会出場にあたって多くのご支援をいただきありがとうございました。

祝 弓道部インターハイ出場！

神風は己から！

松本美須々ヶ丘高等学校同窓会

会長 中村 一郎

文化部

放送部

全国高等学校総合文化祭

2年6組 百瀬綾香

8月11日に富山県で開催された、全国高等学校総合文化祭・朗読部門に出場してきました。会場は全国から集まった高校生で賑わっていました。その人数に圧倒されてとても緊張しました。自分の発表は、内容を伝えることを心がけました。発表はあっという間で、上手く読めた気がしませんでした。審査員のコメントに「情景が浮かんできた。」とあり、嬉しかったです。全国レベルの発表を見て、聞いて、感じて来られて良かったです。

NHK杯全国高校放送コンテスト

2年6組 橋詰雪花

7月23日～26日まで東京都で行われたNHK杯全国高校放送コンテストに出場してきました。当日、会場入りした瞬間、全国から集まった高校生の多さと緊張感のある空気に圧倒されました。本番のアナウンスは、満足する読みが出来ませんでした。各都道府県参加のアナウンスを見て、聞いて、これから生かしていきたいことを沢山学ばせていただくことが出来ました。今回得たことを次に生かし、さらに自分の技術を向上させていきたいです。

全国高等学校総合文化祭に出場して

1年5組12番 小松佳奈

今回私達合唱部は8月12日に行われた「全国高総文祭とやま2012」の合唱部門に長野県中信リーダーズコールとして出場しました。リーダーズコールは中信の高校六校の合唱部で構成されています。練習時間は短かったのですがステージでは心をつなげて歌うことができました。また、他県の合唱を聞き、住む場所は違えど歌う心は一緒なんだと感じました。とても貴重な体験をすることができて良かったです。

合唱部

2011(平成23)年度 部活動のおもな大会結果報告

学芸クラブ

生物・演劇・吹奏楽・映画研究・漫画・華道・茶道・
写真・合唱・FMC・美術・被服・情報処理・放送・書
道・ダンス

平成23年度の活動実績

(県大会以上出場・出品)

演 劇	県高校演劇合同発表会優良賞
吹奏楽	県吹奏楽コンクール銀賞、中部日本 吹奏楽コンクール県金賞、東日本大 震災復興支援コンサート
漫 画	まんが甲子園出品
写 真	県高校写真展出品 (選考展示2)
合 唱	NHK合唱コンクール銅賞、朝日県合 唱コンクール銅賞
美 術	県高校美術展出品
放 送	NHK杯放送コンテスト6部門 (優秀 賞1・優良賞8・奨励賞2)、SBC杯 放送新人コンテスト3部門 (優秀賞 1・優良賞5)、北信越選抜放送大会 (アナウンス・朗読)・とやま総文出 場権獲得、全国高総文祭福島大会放 送部門 (ビデオメッセージ)、交通 安全CMコンテスト (ラジオ部門グ ランプリ)
書 道	県書道展覧会 (特選2・金賞2・銀賞 6・銅賞4・入選4)、全日本高校大 学生書道展 (優良賞3)
ダンス	県総文祭ダンスフェスティバル出場
新聞委員会	国連軍縮会議&関連事業取材・執筆、 全国高総文祭福島大会新聞部門 (文 化連盟賞)、県総文祭新聞部門



運動クラブ

剣道・陸上・バレーボール(男女)・卓球(男女)・ソ
フトテニス(男女)・テニス(男女)・バスケット
ボール(男女)・ハンドボール(男女)・サッカー・
ソフトボール・野球・弓道・バドミントン(男女)・
フットサル・水泳・ワンダーフォーゲル

平成23年度の活動実績

(県大会以上出場)

剣 道	県総体男女団体・男子個人、県新人戦男 女団体・男子個人、県選抜大会男子団体
陸 上	県総体男子200m・400m・女子100mH・ 400mH・走幅跳・走高跳(8位)・4× 100mR・4×400mR、県新人戦男子や り投・女子100mH・400mH・走幅跳・走 高跳(4位・北信越6位)・やり投・4× 100mR・4×400mR
バレーボール	県総体男女、県新人戦男子
卓 球	県総体女子団体・W・個人 (ベスト8・ 北信越出場)
ソフトテニス	県総体男女団体・男子個人 (ベスト 16・北信越)、国体予選男子個人、 県新人戦男女個人
バスケットボール	県総体男女、県新人戦男女、選抜男子
ハンドボール	県総体男女、県新人戦男子3位
ソフトボール	県総体、県新人戦
サッカー	選手権県ベスト4、県新人戦3位
野 球	全国高校野球選手権県大会
弓 道	県総体男女団体・男子個人、県新人 戦男女団体・男女個人、全国選抜県 予選男女団体、東日本男女団体
バドミントン	全日本ジュニア女子個人
水 泳	県総体男子100m平・200m平・女子 100m平(6位)・200m平(4位)、北 信越女子100m平・200m平



平成24年度 同窓会役員名簿

役 職	氏 名	卒 年
会 長	中 村 一 郎	昭 37
副 会 長	小 林 磨 史	昭 48
副 会 長	百 瀬 富貴子	昭 45
副 会 長	白 井 秀 代	昭 47
副 会 長	荻 原 幹 雄	昭 38
副 会 長	山 田 洋 一	教 頭
常 任 理 事	山 田 悦 生	昭 42
常 任 理 事	大 林 好 矩	昭 28
顧 問	銭 坂 明 尚	昭 22
顧 問	井 口 善 高	昭 30
顧 問	福 島 昭 子	昭 26
顧 問	安 藤 善 二	学校長
参 与	中 川 博 司	昭 52
参 与	甕 裕 一	平 元
監 事	鳥 羽 紀 子	昭 38
監 事	小 野 伸 二	昭 61
会 計	原 元 士	昭 50
会 計	刈 間 俊 也	事務長
理 事	原 みよ子	昭 22
理 事	太 田 公 孝	昭 38
理 事	三 澤 博	昭 39
理 事	三 輪 尚 弘	昭 41

役 職	氏 名	卒 年
理 事	伊 藤 篤 實	昭 43
理 事	上 条 信太郎	昭 44
理 事	川 崎 亨	昭 45
理 事	中 村 俊 春	昭 46
理 事	松 本 武 子	昭 47
理 事	山 崎 いずみ	昭 51
理 事	高 橋 隆 夫	昭 54
理 事	木 下 尚 子	昭 55
理 事	中 村 努	昭 56
理 事	鳥 羽 洋 一	昭 57
事 務 局 員	住 田 慶 子	昭 37
事 務 局 員	鳥 羽 美根子	昭 37
事 務 局 員	横 田 麗 子	昭 43

【学校職員】

常 任 理 事	高 橋 一 郎	昭 58
常 任 理 事	稲 場 隆	昭 59
常 任 理 事	祖父江 信 一	昭 59
事 務 局	齋 藤 俊 樹	平 2
事 務 局	白 木 貴 仁	平 7
事 務 局	滝 沢 愛 子	

平成24年度松本美須々ヶ丘高等学校同窓会総会

13：00～13：50 受付
 14：00～15：00 総会
 15：00～17：00 映画上映会【アンダンテ】～稲の旋律～
 17：00～ 懇親会

定期総会 次第

- 開会のことば
- 同窓会長あいさつ 福島 昭子会長
- 学校長あいさつ 安藤 善二学校長
- 来賓あいさつ
- 報告事項
- 議長選出・議長就任あいさつ（代議員）
- 議事録署名人の委嘱（幹事学年より）
- 議 事
 - 第1号議案 平成23年度事業報告（小林副会長）
 - 第2号議案 平成23年度決算報告及び会計監査報告（刈間事務長）
 - 第3号議案 平成24年度事業計画（案）（小林副会長）（小野監事）
 - 第4号議案 平成24年度予算（案）（刈間事務長）
 - 第5号議案 役員の改選について（荻原事務局長）
- その他
 - 報告事項
- 議長退任・あいさつ
- 連絡事項
 - 会報の発行について
 - 年会費について
- 閉会のことば

議事全て承認されました。
 出席者31人ご協力ありがとうございました。

シリーズ 美須々のころ②

島崎藤村が作詞 山田耕筰が作曲した
松本女子職業学校の校歌

松本美須々ヶ丘高校100年の歩みを綴った記念誌『美須々のころ』の中から次代へ受け継いでいきたい美須々精神や学校の歴史など、特筆すべき記事をシリーズで紹介します。

作詞について上京懇請した学校長松沢実蔵に藤村は、「この学校の校歌も作らないことにしているが、女子職業学校生徒の作品に筆を入れるといふことで、とくに引き受けることにしよう。」と答えたという。

学校ではその意を受けて早速同窓生、在校生から校歌の歌詞を募集した。応募の歌詞の中から藤村のもとに送られたものを基として作られた校歌が届いた。

添付された「前書き」は次の通りであった。

「この校歌は本科四年生宮沢貞子、丸山久子、専攻科二年生小野沢ちい子、平塚芳子、専攻科一年生小池孝子、卒業生市川千代等に作らせ、あるところはその言葉をとり、あるところはその意を汲み、それにおのれの筆を加へたるものなり。これは、校長松沢実蔵君のもとめによる。されば、かく出来上がりたるものは生徒諸子とおのれの合作といふもまたげなし。この歌が、やがて深志の里にうたはる日のあることを思いやりて。

昭和九年十月十日

東京麻布飯倉にて 島崎 藤村

作曲は山田耕筰が快諾し、一か月もせず譜面が送られてきた。次の文章が添えられていた。

「流石に島崎藤村先生の御作だけあって、私は今日まで、これ程に気持ち良く校歌の作曲に当たったことはありません。私の会心の作として決して恥ずかしくはないものと自らも信じております。歌唱にあたっては、どこまでも朗らかに、ながれるように、しかもあくまで敬虔の念に

充たされて唄われるよう。」と。

新作「校歌」は昭和九年一月九日、学校創立二十五周年記念式で初めて生徒たちによって発表された。また、それに先だつて歌唱指導のために訪れた山田耕筰は「歌は決して人に聴かせるために歌うのではない。自分が自分自身に歌うのだ。」と語ったという。

長い間待ち望んだ校歌ができ生徒も職員も喜んだ。その喜びの言葉が残されている。

「平易な言葉から、奥深い真の道をはつきりと偲ばせてくれる。人として女性の道も亦斯くの如きものであらうか。」

「私の心に今も校歌が生命をはぐくみ育ててくれる糧として、生活の芯として生きてゐてくれる事を思ふ時、いい校歌を得た幸福を泌々と思ふ。」と。

そして時の校長松沢実蔵は同窓生に向けて、「在校中にはこの校歌はなかったのであるが其の時分に学校のどこかに流れておった、かよつておつた其の気持が、その心が、歌い直されておる様な気がする。果たしてそうであるならば、此の校歌はやはり皆さんの歌である。」と祝いの言葉を述べた。

ここに言い表わされている校歌のころ、いや校歌にうたわれている学校のころ。その後、時代の要請、社会の要望に応じて設置され、東の間の使命を終えて併合、新しい制度の学校へと発展的にその名を歴史の上に留めるだけに終わった松本市立中学校、松本市立女子商業学校は、その思いひたすらなものがあつたであらうと推察するが、校歌を制定する暇もなかった。

後年、戦後の新学制が施行され、男女三つの学校が統合して長野県松本美須々ヶ丘高等学校となり、ほぼ一〇年、学校の体裁も整い、県立移管を完全に終えた昭和三二(一九五七)年に新しい校歌が誕生することとなる。

この校歌については、項を改め記すことにするが、いつの世にも校歌に、また仲間たちで唄う歌にこめる思いは変わらない。

そこに在るのはころであり、この新しい校歌にも「みずゞの心」と歌われている。前身の学校のこのいわば生徒と藤村合作の校歌にも「若い友愛をつなぐ心」「香り高く品位あ

松本女子職業学校
松本高等家政女学校
松本市立高等女学校

校歌

作詞 島崎藤村
作曲 山田耕筰

一、むかしより

深志の里は 松葉に清し
その葉をば胸に結ばむ
その葉をば手にもかざさむ
をためごの心をつなぐ
うら若さしるしとせむ

三、むかしより

深志の里は 松葉に清し
清さあり何かおそれむ
若さあり何かおそれむ
まごころはやがて伸びゆく
をとめごを守る力ぞ

二、むかしより

深志の里は 松葉に清し
学び舎は古城のもとに
母のごと立てるを見よや
緑葉は香ひあふれて
をとめごの思ひを傳ふ

四、むかしより

深志の里は 松葉に清し
奥深き学びの道の
遠くとも心燃えなば
縫ふ針の貫く日あり
一筋の直き松の葉

る心」毅然とおそれを知らぬ心「遠く憧れ求めゆく心」をうたっている。ちなみに、島崎藤村の作詞による校歌はきわめて珍しく、全国に二つしかないといわれている。

一つは、藤村の出身校である明治学院大学の校歌であり、もう一つが松本女子職業学校のそれであることを知る時、当時のこの学校の品格というものに思いを致さざるをえない。昭和四九(一九七二)年五月、NHKのテレビ番組「二つの校歌」でこのことが紹介され、明治学院大学のグリーククラブのレパトリーにもこの二つの校歌が入っているのである。



双蝶祭 とんとんとん汁サービス風景



同窓会より寄贈された快挙事項看板

進学合格状況 (平成23年度延べ人数・浪人含む)

【国公立大学】12名

信州大 (工・農)	2	新潟大	1	前橋工科大	1
宇都宮大	1	高崎経済大	2	愛知県立芸術大	1
富山大	1	静岡県立芸術大	1		
横浜市立大	1	上越教育大	1		

【私立大学】325名 (一部抜粋)

獨協大	4	文教大	4	青山学院大	1
桜美林大	5	大妻女子大	2	國學院大	3
駒澤大	5	上智大	2	成蹊大	3
成城大	5	専修大	5	大東文化大	4
玉川大	3	多摩美術大	1	中央大	3
帝京大	14	東海大	6	東京経済大	5
東京工科大	3	東京農業大	4	東洋大	12
二松学舎大	1	日本大	14	日本体育大	1
法政大	8	明治大	2	明治学院大	3
立教大	3	早稲田大	2	神奈川大	20
関東学院大	5	新潟薬科大	1	金沢工業大	4
諏訪東京理科大	5	清泉女学院大	2	長野大	4
松本大	18	愛知大	7	愛知学院大	5
中京大	2	名古屋外国語大	2	南山大	1
日本福祉大	2	名城大	2	京都女子大	1
京都橘大	4	立命館大	5	龍谷大	2
関西大	1	関西外国語大	1	近畿大	3

【国公立短期大学】5名

長野県短大	5		
-------	---	--	--

【私立短期大学】36名 (一部抜粋)

青山学院女子短大	1	大妻女子大短大部	1	共立女子短大	2
帝京平成看護短大	2	立教女学院短大	1	上智短大	1
清泉女学院短大	8	松本短大	4	松本大松商短大部	4

【看護医療系専門学校】38名

看護系	23	理学・作業療法系	9	その他医療系	6
-----	----	----------	---	--------	---

事務局だより

100周年記念誌を 好評発売中

・1冊5,000円

ご購入希望の方事務局までご連絡下さい。

教育会館(同窓会館)を ご利用下さい。

〈同級会の前に見学して、懇親会へ〉
ご利用希望の方はご連絡下さい。
事務局は毎週火曜日開館しています。
10時～15時

TEL・FAX 0263(33)2560

編集後記

☆【総会】毎年6月の第3週の土曜日の午後に計画されています。本年度は事務局の不手際もあり35名の参加(例年は50～60人に止まり誠に寂しい総会となりました。

しかし参加された方々には映画上映会【「アンダンテ」(稲の旋律)】の鑑賞ができてとても好評でした。今年度、学校と同窓会が協力し生徒にも鑑賞していただくことになりました。来年度はぜひ沢山の方々に参加していただくように計画したいと考えていますので、多数参加を期待しています。(6月第3週の土曜日午後。年間計画にお入れ下さい。)

☆【ハプニング】8月17日の午後落雷があり、同窓会事務局のパソコンが使用不能となりメールで送られた会報の原稿がとり出せず会報の発行が遅れました。今年度パソコン購入の計画がありましたので早速会長(中村一郎会長はパソコン教室の先生)に手配していただき注文しました。

☆【同窓生の活躍】卒業生、現役の生徒の活躍が目立ちます。大変喜ばしい事です。総会の冊子や会報に順次掲載していますし、今後も特集などを組んでいきたいと考えています。又、掲載したい出来事がありましたら事務局までご連絡下さい。

毎年少しずつですが総会、会報を中心に同窓会を向上、充実させて行きたいと考えています。年会費の納入、同窓会の行事などに一層のご協力をお願い申し上げます。

(事務局 荻原38年卒)